



# Cisco UCS Central での機能カタログの管理

この章は、次の内容で構成されています。

- [機能カタログ, 1 ページ](#)
- [機能カタログの更新設定, 3 ページ](#)
- [ドメイングループの機能カタログの表示, 4 ページ](#)
- [機能カタログポリシーの削除, 4 ページ](#)

## 機能カタログ

機能カタログは、調整可能なパラメータ、文字列、およびルールのセットです。Cisco UCS はカタログを使用してサーバの新しく資格を持ったDIMMやディスクドライブなどのコンポーネントの表示と設定可能性を更新します。

カタログは、シャーシ、CPU、ローカルディスク、I/O モジュールなどのハードウェア コンポーネントによって分割されます。カタログを使用すると、該当するコンポーネントで利用可能なプロバイダーのリストを表示できます。1つのハードウェア コンポーネントに対して1つのプロバイダーが存在します。各プロバイダーは、ベンダー、モデル (PID)、およびリビジョンによって識別されます。各プロバイダーに対して、装置の製造元とフォームファクタの詳細を表示することもできます。

特定のカタログのリリースに依存するハードウェア コンポーネントの詳細については、『[Service Notes for the B-Series server](#)』のコンポーネントのサポートの表を参照してください。特定のリリースで導入されたコンポーネントの情報については、『[Cisco UCS Release Notes](#)』を参照してください。

## 機能カタログの内容

機能カタログの内容は次のとおりです。

### 実装固有の調整可能なパラメータ

- 電力および熱に関する制約
- スロット範囲および番号
- アダプタ機能

### ハードウェア固有のルール

- BIOS、CIMC、RAID コントローラ、アダプタなどのコンポーネントのファームウェア互換性
- 診断
- ハードウェア固有のリポート

### ユーザ表示文字列

- CPN や PID/VID などの部品番号
- コンポーネントの説明
- 物理レイアウト/寸法
- OEM 情報

## 機能カタログの更新

機能カタログのアップデートは、各Cisco UCS インフラストラクチャ ソフトウェア バンドルに含まれています。Cisco TAC から特に指示された場合を除いて、Cisco UCS インフラストラクチャ ソフトウェア バンドルをダウンロードし、アップデートし、アクティブ化した後に、機能カタログのアップデートをアクティブ化する必要があるだけです。

機能カタログのアップデートをダウンロードすると、Cisco UCS によってすぐに新しいベースライン カタログに更新されます。それ以外の作業は行う必要がありません。機能カタログの更新では、Cisco UCS ドメイン内のコンポーネントをリポートや再インストールを行う必要はありません。

各Cisco UCS インフラストラクチャ ソフトウェア バンドルには、ベースライン カタログが含まれます。まれに、シスコが Cisco UCS リリースの間で機能カタログの更新をリリースし、ファームウェア イメージをダウンロードするのと同じサイトで更新を入手できるようにする場合があります。



- (注) 機能カタログのバージョンは、使用している Cisco UCS のバージョンによって決まります。たとえば、Cisco UCS 2.0 リリースは、機能カタログのあらゆる 2.0 リリースと一緒に使用できますが、機能カタログの 1.0 リリースと一緒に使用することはできません。特定の Cisco UCS リリースでサポートされている機能カタログのリリースについては、<http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc> で入手できる『Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap』にある『Release Notes for Cisco UCS Administration Software』を参照してください。

## 機能カタログの更新設定

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCSC# <b>connect policy-mgr</b>	Policy Manager モードを開始します。
ステップ 2	UCSC(policy-mgr)# <b>scope domain-group domain-group</b>	ドメイングループルートモードを開始し、(任意で) ドメイングループルート下のドメイングループを開始します。ドメイングループルートモードを開始するには、/ を <i>domain-group</i> として入力します。
ステップ 3	UCSC(policy-mgr)/domain-group# <b>scope fw-catalog-pack</b>	機能カタログパッケージモードを開始します。
ステップ 4	UCSC(policy-mgr)/domain-group/fw-catalog-pack # <b>set catalogversion 2.1(0.475)T</b>	この更新の機能カタログバージョンを指定します。
ステップ 5	UCSC(policy-mgr)/domain-group/fw-catalog-pack* # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムにコミットします。

次に、Cisco UCS Central からドメイングループの機能カタログ更新を設定する例を示します。

```
UCSC# connect policy-mgr
UCSC(policy-mgr) /domain-group # fw-catalog-pack
UCSC(policy-mgr) /domain-group/fw-catalog-pack # set catalogversion 2.1(0.475)T
UCSC(policy-mgr) /domain-group* # commit-buffer
UCSC(policy-mgr) /domain-group* #
```

## ドメイングループの機能カタログの表示

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCSC# <b>connect policy-mgr</b>	Policy Manager モードを開始します。
ステップ 2	UCSC(policy-mgr)# <b>scope domain-group domain-group</b>	ドメイングループルートモードを開始し、(任意で)ドメイングループルート下のドメイングループを開始します。ドメイングループルートモードを開始するには、/を <i>domain-group</i> として入力します。
ステップ 3	UCSC(policy-mgr)/domain-group# <b>scope fw-catalog-pack default</b>	機能カタログパッケージモードを開始します。
ステップ 4	UCSC(policy-mgr) /domain-group/fw-catalog-pack # <b>show detail</b>	この更新の機能カタログバージョンを指定します。

次に、Cisco UCS Central CLI からドメイングループの機能カタログを表示する例を示します。

```
UCSC# connect policy-mgr
UCSC(policy-mgr) /domain-group # fw-catalog-pack default
UCSC(policy-mgr) /domain-group/fw-catalog-pack # show detail
Catalog Pack:
Name: root/default
Mode: Staged
Catalog Version: 2.1(0.468)T
Description: default
UCSC(policy-mgr) /domain-group* #
```

## 機能カタログポリシーの削除

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCSC# <b>connect policy-mgr</b>	Policy Manager モードを開始します。
ステップ 2	UCSC(policy-mgr)# <b>scope domain-group domain-group</b>	ドメイングループルートモードを開始し、(任意で)ドメイングループルート下のドメイングループを開始します。ドメイングループルートモードを開始するには、/を <i>domain-group</i> として入力します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	UCSC(policy-mgr) /domain-group # <b>delete fw-catalog-packname</b>	ドメイングループから指定されたカタログポリシーを削除します。
ステップ 4	UCSC(policy-mgr) /domain-group* # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをシステムにコミットします。

次に、ドメイングループから機能カタログポリシーを削除する例を示します。

```
UCSC# connect policy-mgr
UCSC(policy-mgr) /domain-group # delete fw-catalog-pack default
UCSC(policy-mgr) /domain-group* # commit-buffer
UCSC(policy-mgr) /domain-group* #
```

